

府 督 總 灣 臺
部 報 情 時 臨

報 部

號 旬 中 月 二 十

昭和十二年九月二十日第三
昭和十四年十二月十一日發行 (每月一日、十一日、廿一日發行)

〔第八十二號〕

經濟戰と國民生活
財務局金融課
新竹州の選舉經過概要
新竹州臨時情報部
臺南州會臨時會に當りて
臺南州臨時情報部
時局南支展覽會を觀て
小公學校生徒
紀元二千六百年新年奉祝實施要綱
地方情報・旬間日誌



經濟戰に勝つために

低物價政策への協力
生活の戦時態勢化
物資の節約と活用
米の消費節約
百億貯蓄・金の集中

經濟國策に協力しませう

旬 間 日 誌

十一月二十九日(水)
▼鐵道大臣 永田秀次郎氏 厚生大臣秋田清氏新任式舉行さる 閣僚補充問題解決し時局擔當の決意も新に政府事態處理へ再出發し阿部首相談話▼大學生の改正教育審議委員會で可決▼芬蘭と國交斷絶しソ聯政府發表し
十二月一日(金)興亞奉公日、防火日
○陸軍の定期異動、臺灣軍司令官更迭牛島實常中將親補さる ○米穀精製制限令實施 ▼舞鶴鎮守府復舊開始 ▼米國は他の中立國と共同して獨逸軍捕令に關し英佛に抗議せずとのピットマン聲明に對し須磨外務省情報部長反駁 ▼廣東、香港間各國船舶運送を今迄の
十二月二日(土)
二倍増加し日英兩國總領事調印し▼米國、ソ・芬に對し非敵國員爆撃を回避する様警告 ▼芬蘭新内閣成立、停戰交渉開始
十二月三日(日)
▼聖慮の程履し新年奉祝品献上御嘉納あらせられず ○全島産業組合大會開催(於新竹市) ▼ソ聯各人民政府、修好、互助條約調印
十二月四日(月)
▼中支戰線觀察の秩父宮殿下、空路にて御歸遊遊はさる ○臺灣官民からの赤誠卅五萬九千五百餘圓(第三回皇軍將兵慰問金)
十二月五日(火)
○見直前軍司令官離臺 ▼稅制改革案の大綱閣議で正式決定 ▼東亞經濟懇談會開催、日、滿、支一體化の計畫經濟討論 ▼英、獨逸拿捕令實施
十二月六日(水)
○殖へる島内郵便貯金、四千萬圓に今一息
十二月七日(木)
▼聖上、歸朝の寺内大將を御召、歐洲新情勢の御進講を賜召さる ▼第六回臨時資金調整委員會開催金統制強化を圖る ▼十五年度精勵方針決定し精勵委員會開催 ▼臨時滿蒙國境測定委員會、チタで開催
十二月八日(金)
○外貨獲得一千萬圓は容許 臺灣茶の輸出一千萬斤に迫る ▼ソ聯のバルカン進出に對し、フアンスト最高會議で強硬聲明、伊首相から軍大警告を發す

經濟戰と國民生活

財務局金融課

現代、政治經濟評論界に於きまして、世界的名聲を有つて居る英吉利の「ボール、アインチヒ」といふ人が最近「次期大戦の經濟的研究」といふ書物を著しましたが、その内容は英吉利及其の同盟國と獨逸及其の同盟國との、二つの國家群の破局を想定して、政治經濟的見地から種々分析致しまして戦争の結果を豫想したものでありますが、その結論に斯ういふことを云ふて居ります。

先づ「英國は戰闘には敗れるかも知れないが、戦争にはきつと勝つであらう」と云ひ又「ナチス、ドイツの恐るべき戰闘力に、たとひファシスト、イタリーの援助があつたにしても、民主主義諸國が必ず勝つといふことは、戦争の結果が大いに經濟的理由によつて左右されるものである限り一點の疑ひの餘地もない」と斷じまして最後に左の如く結んで居ります。「若しも第二次世界大戦が始まるならば、それは必ずや長期戦になるであらうが、長期戦に

於ては經濟的理由が勝ち負けを決する極めて重要な要素であるから、英吉利のやうな金準備が豊かであり、之によつて豊富に食料品や原料品を得られる國は、獨逸のやうな金が少く又食料品や原料品に乏しい國に對し、必ず最後の勝利を得る事が出来る事は、前大戦の時と同じである」と云ふて居るのであります。

私は第二次歐洲大戦が現實に勃發致しました今日、色々な角度より見て此の觀察が當つてゐるとは必ずしも思ひません。アインチヒは英國人であつて、自分の國に都合のよい觀察をして居るのでありますが、私が特に彼の言ふ所を引用致しました所以は、即ち長期戦は經濟問題が、最後の勝敗を決するものであるといふ見方、即ち此の頃の言葉で申しますれば「近代戦は經濟戦である」といふ見方が、今日の常識であるといふことを、改めて皆さんの胸に訴へて見たいと思つたからであります。

そうして斯ういふ見方が正しいといふことは、曩の大戦の際、獨逸の敗北が、銃後の婦人の窮乏に對する忍耐力の足りなかつたことに起因し、最後には銃後の軍需工業に於けるストライキにあつたといふことは、ヒットラー自身がその著「我が闘争」の中で述べてゐる通りであります。つまりは窮乏の度が英吉利よりひどかつたこと、及それに對して耐へ忍ぶ堅忍持久の精神が銃後に足りなかつたばかりでなく、逆に買ひ溜に狂奔し、飲酒に耽溺する等却つて物資を消費し、國家の崇高な目的を打ち忘れる者が多かつたこと、更に言ひかへますれば國民精神總動員が徹底しなかつたことに原因があるのであります。

四
而、支那事變も今年は既に第三年目であります、やがて第四年目を迎へようとして居ります。此の間、さしもの蔣政権も遂に一地方政權と化し、八紘一宇の大理想は、東亞新秩序の建設といふ形に於て、着々具現されて居るのであります。之は、御稜威の下皇軍勇士の汗と血の結晶であり、又とりわけ大陸の華と散られました幾多英靈によつて、子々孫々に迄残されました貴い遺産なのであります。然し乍ら、此の新秩序建設も其の完成までにはまだ却々であります。

大陸の大氣に漂ふ哨煙が朝霞の様に消えてなくなり、土に泌み付いた血の香ひがすつかり洗はれて、日本の農夫と素朴な支那の農民とが、燦々と輝く太陽の下で、仲よく八紘一宇の建設の鍬を打ちこむ美はしい情景が見られる様になるには、まだ幾多の歳月を経なければならぬのであつて、愈々之からがほんとうの長期戦になるのであります。長期戦は先程も申しました通り經濟戦であります。經濟戦はとりもなほさず銃後の生活の中に於て戦はれるのです。

唯今恰度全國的に經濟戦強調運動をやつて居ります。皆さんは市街庄なり或は郡役所なりから、年末年始の贈答廢止とか、忘年会の自肅だとか、買ひ溜、賣り惜み嚴禁だとか、或は賞與で國債を買つて下さい、やれ貯蓄をして下さい等いふことをうるさい程耳にされたに違ひありません。皆さんの生活に於きまする經濟戦とはつまり之であります。之がどれだけ實行されるかが即ち經濟戦の勝ち負けの分れる所であります。皆さんがよく之を守られるな

らば、國內の物資の配給も餘程圓滑になることと思ひます、従つて、物價もそう無暗に上ることはありません。言ひ替ふれば國民の心掛一つで物資の需要と供給とが均衡を得て茲にインフレーションの心配もなく、何年でも戦争が繼續出来るといふ譯になるのであります。従つて今日物價がどん／＼上り、日本銀行の兌換券の發行高が、ぐん／＼増えてゆくのは國民がまだ經濟戦に就ての覺悟が充分でなく、従て又國民生活の自肅が足りないのではないかと申されます。戦場で多大の物資を消耗すれば、國內では勢ひそれだけ増産をするか、或は一方消費をさりとめなければならぬことは、自明の理であります。戦争による物資の消耗が多ければ多だけ國內では國民の消費する分をうんと減じて貰はねばなりません。國民が之を悟らないで、景氣がよくて、収入がふえたからといつて浪費すれば、それだけ餘計に物資が不足し、従て配給不圓滑となり、其の結果物價は益々暴騰して、所謂九・一八の物價停止令も、何もさつぱりきゝめがないといふことになり、又政府は政府で百億の豫算を樹てたが、物價が上つたので、例へば百五十億圓なければ欲しいだけの物が買へないことになり、百五十億圓もの多額の金を政府がつかへば又それだけ銀行券が市中にふえて、それを受けとつた人がまた之を浪費する、浪費すれば物資が更に一層不足して、物價がもつと上る、物價が上ると、その次には政府は戦争を續ける爲に、今度は二百億圓もの豫算を組まなければ、前年度同様の仕事が出来ない。二百億圓の豫算を使へば又銀行券が市中に殺到するといふ工合に果てしなくなりまして、此の循環が早くなれば、遂には悪性インフレーション

ヨンとなつて、國民經濟の運行が止るといふ結果にあるのであります。然し乍ら之は嘗てのドイツに當てはめて説明を試みただけでありまして、何も日本がこんな風になるといふのではないのであります。假令僅かでも買ひ溜、賣り惜、浪費をする者がありましたならばそれだけ聖戰の目的遂行を妨げることになるのであります。つまり銃後の國民生活は自肅の一語につきます。先ず第一に浪費をやめ、虚禮に類するものや、年末年始の暴飲暴食の類は之を自肅することであり、次には収入はなるべく多く貯金をするなり、公債を買ふなりすることであり、殊に只今は賞與の時期でありますから一層の戒心が必要であります。

先日、明年度豫算の總計が發表されましたが、それを見ますと、本年度より九億圓程増加して居りまして合計百三億餘圓となつて居ります。此の巨額の豫算は、その中の一部分を租税其他の収入によつてまかなひますが、残の大部分即ち五十數億圓といふものは、政府が國債を日本銀行に引き受けさせて、借金をして聖戰の目的に使用する譯であります。而して此の五十數億圓の國債がその儘日本銀行に残されたならば、それだけの銀行券が國內に撒布されることになるのでありますから、之を受けとつた國民が、その儘贅澤に使つたならば物資は愈々不足するばかりで大變なことになるのであります。従つて之をそつくり貯金をするとか或は之を以て日本銀行にある國債を買ひ入れるとか致さなければなりません。

今年度の貯蓄目標は百億圓であつてその内譯は國債消化資金として約六十億圓、日滿支を通ずる生産力擴充資金として約四十億圓でありますことは、既に御承知の通りであります。

臺灣は之に應じまして今年度一億圓を目標としたのであります。幸にして着々豫期以上の成績を擧げてありますことは、洵に慶祝に堪へない所であります。

而して明年度はその豫算面から見ましても、更に今年度以上の貯蓄が必要とされるのでありますから、從て臺灣に於きましても貯蓄獎勵運動に一段の努力を拂ふ積りであり、各位に對しましても一層御協力を御願ひしたのであります。

終りに臨み、繰り返して申し上げます。

經濟戰は我々國民の日常生活の中にあります。而して經濟戰は國民生活の犠牲によつて行ひ得るものであります。此の犠牲は、身を鴻毛の輕さに比して闘つた皇軍將士の犠牲に比較しますれば、殆んど、話にならない程、輕いものであります。私は茲に經濟戰強調運動に際しまして、護國の英靈が貴い遺産として残されました東亞新秩序の建設を、見事に完成せしむる爲に、各位の一層の御奮起を切望して己まない次第であります。

—十二月十六日財務局長代理山岸金融課長の特別放送原稿—

紀元二千六百年 新春奉祝實施要綱

一、趣 旨

昭和十五年元旦に當り事變下に迎ふる皇紀二千六百年の嚴肅なる意義を體得し 皇室の聖徳を欽仰し 聖壽の無窮を壽ぎ奉ると共に愈々盡忠報國の精神を昂め皇運扶翼の實を擧げ新東亞の建設に邁進すべき國民の覺悟を神明に誓ふの趣旨の下に奉祝を行ふこと。

二、實施方法

- (一) 各家庭に於ては元旦必ず最寄の神社に參拜すること
 - (二) 當日午前九時を期し「國民奉祝の時間」を設定し各家庭其の他の場所に於て夫々宮城通拜並に萬歳奉唱を行ふこと
- 此の爲同時刻にはサイレン、鐘其の他適當なる周知

方法を講ずること

尙ラデオは同時刻に「國民奉祝の時間」の放送を行ふ

(三) 官公衛、學校、各種團體、銀行、會社、工場等に於ては奉拜式又は祝賀式を行ふと共に本文趣旨の徹底を圖ること

(四) 市街庄に在りては市街庄民の爲神社、公園、學校、公會堂等適當なる場所に於て祝賀の方法を講じ

本文趣旨の徹底を圖ること

(五) 奉拜式又は祝賀式には成るべく紀元二千六百年奉祝會選定の「紀元二千六百年頌歌」を齊唱すること

備考

(一) 神社參拜に付ては、市街庄に於て夫々神社と打合の上成るべく歳旦祭に參列し得る様措置すること

(二) 「紀元二千六百年頌歌」の齊唱は國歌齊唱より後順位とすること

紀元二千六百年元旦の 興亞奉公日實施上の注意

明年一月の興亞奉公日は恰も光輝ある紀元二千六百年の元旦に際會するので當日全國民は悠久なる國史の跡を偲び「紀元二千六百年新年奉祝實施要綱」の趣旨に則り奉祝の誠を捧ぐると共に國民生活綱要を一層遵守勵行し眞に戦時下國民として模範的生活を送るべきであるが特に左記事項に就ては格別の考慮を拂ふこと

一、松飾り其の他新年恒例の諸事萬端は時局柄簡素にすること

二、虚禮的の年賀狀及年始贈答の類は一切之を廢止すること

三、屠蘇を祝ふことは我が國古來の慣行であつて單なる飲酒とは趣を異にするを以て敢て之を禁止するの要はないが屠蘇に名を藉りて飲酒の傾向を助長する結果にならぬ様留意すること

新竹州の選舉經過概要

新竹州臨時情報部

第二回總選舉は事變下に行はるゝが故に餘後國民の總親和は選舉の上に反映すべく又當然反映せしむべきで隨て其の成績も第一回の夫れに比し優るべく豫想されたのであるが果して豫想の好成績を擧げ得らるかかと云ふに到つては相當懸念されたのである。

第一回總選舉は制度改正當初の選舉であつたが爲半ば好奇心と興味を以て迎へられ選舉の氣勢は自ら昂揚されたのであつた。然るに今回の總選舉は既に處女選舉に慣れたる爲か將又多端なる時局方面に氣を奪はれたる爲か前回に比し何となく氣乗薄を思はしむるものがあつた。隨て今回の總選舉をして前回以上の成績たらしめんには寧ろ前回以上の努力を要するやに認めら

れたのである。然らば如何なる方面に如何なる努力が拂はれたか以下其の概略に就て述べて見度い。

講演會

地方民に對し自治の觀念を與へ其の自覺を促す爲に從來毎年自治講演會を州下普く行ひ來つたのであるが、本年は目前に總選舉を控へたが爲一層其の重要性を認めらるゝに到つた、斯くて講演會の對象も勢ひ選舉有権者を主とし講演も自ら選舉に重點を置かれ、州下一市四十二街庄に互り實施したる結果は聽講者二萬六千名の多きに及んだ。又市街庄に於ては各區或は部落毎に有権者に對する講演會を開催し其の指導訓練に努めたのである。之等の講演會が選舉に關する認識と自覺を深め總選舉の成績に

寄與せる所は蓋し大なるものがあつた。

假名文字講習會

投票の代書を全然認めざるに決定せる以上文盲者の指導は最も重要な選舉對策の一であらねばならぬ。然らば州内幾何の文盲者たる有権者の存するか之を調査したる結果は、總有権者三萬二千五百餘名中六千六百八十三名の多きに及んで居る。第一回總選舉當時の八千五百餘名に比すれば著しき減少なりとは云へ之等が完全に自書し得る迄に文字を習得せしむることは容易の業ではない、殊に其の中には百六十名の盲目者を包含することは一層苦心の存する所であつた。茲に於て各市街庄は夫々綿密なる講習計畫を樹て講師の分擔を定め彼等文盲者の假名文字講習に力を竭すことになつた。而して講習の實績を見るに十一月十日現在の調査では當初六千六百八十三名の無筆者が四百八十七名に激減し、更に二十日の現在は殆んど一掃の状態に至つた。其の間第一線に立つ職員は努力は並大抵でなかつた。愈々開票の結果は州下を通じ白紙投票僅に

三十票に過ぎざる好成績を収めたのである。

無効投票の防止

第一回總選舉に於ける州下の無効投票率は一、四〇で全島平均一、一〇に對比し遜色ありしことは爾來當州の痛恨事とされて居る。之は主として本州が原則として投票の代書を認めず、唯特殊事情の存する一庄のみに限定した爲文盲者の文字の習得不充なる者ありしに因るものではあるが、亦有権者の投票に關する無知に基く無効投票も二割に達して居るのである。故に此の實績に徴する時は無効投票の撲滅には文盲者に對する假名文字講習の徹底を圖るの外有権者に對する選舉訓練の重要なを思はしむるのである。其の一策として各市街庄に於ては前回同様模稜選舉會を行つた。第二回の選舉對策としての模稜選舉會は其の要否に付兎角の議論はあるにしても、第一回總選舉後既に四年の歳月を閱し其の間有権者には少らぬ異動もあるので、無効投票防止上の實地指導として或は選舉宣傳の一策として決して無意味のものでないことを茲に強

調して置かねばならぬ。

其の他無効投票の防止に關しては講演會座談會等に於て常に注意を與ふる等、何れも努力を拂つた效あつて前回總選舉に於ける無効投票率一・四〇より〇・五九に減少したことは著しき成績の向上として一應の満足を感じたのである。然しながら州下全體を通じて百九十一票の無効投票のあつたこと、言換ふれば百九十一名の多くの有権者が尊き選舉權を有効に行使得なかつたことに想を致す時更に努力の餘地の存するを思はざるを得ぬ。

棄權防止

有権者をして洩れなく選舉權を行使せしむることは自治訓練の一であり、公民教育の一步であると同時に制度に對する有権者の責務である。

故に棄權の防止に就ては最善の方策を考慮し、講演會等に於て有権者の責務を説いて其の自覺を喚起し、旅行不在者には選舉當日の帰宅投票を促し或は投票不能となるべき旅行を戒むる等、凡ゆる方面より事故者

の防止に努力したのである。

斯くて十一月十日及同二十日の現在を以て調査したる事故者の實數に基き推算したる州下全體の投票率は何れも九十九%を超ゆることを豫想せらるゝに至つた。然しながら是れ素より豫想に過ぎないので、當日の天候其の他個々の突發事故に依り意外なる變化を生ずることなきやの不安はあつたが、幸に當日は天候稀に見る好晴であり且又豫て投票不能かと目せられた旅行不在者中責任感にほだされて遠路歸來する者、或は自ら重病を押して投票する者等幾多の美談を生みて州下平均九十九%三三五、百%の街庄十八、郡の百%一と云ふ豫期の投票率を見た次第である。

選舉宣傳

有権者に對する選舉宣傳は凡ゆる機會に於て概ね普及されるのであるが、理想的選舉は獨り選舉權者のみならず一般市街庄民の選舉に對する正しき認識と理解を要することは云ふ迄もない。之れが對策として當州自治協會支部に於ては宣傳ポスターと標語とを利用すべく計畫し、其

の圖案と標語の募集を行つた處應募數ポスター四十七點標語二千六百四點の多きに達したことは聊か面喰の態であつた。之に對し斯道權威者に於て嚴選を行ひポスター三點標語十點を夫々授賞し、就中優秀なるポスター及標語を複製印刷して總數八千百枚を州下普く配付したが、之れに依つて地方の選舉氣勢を煽り選舉に對する一般の認識を喚起する效は尠くなかつた。

職員の教養訓練と事務の統一

市街庄吏員素質向上の爲の地方改良講習は例年繰返し開催して來た所であるが、本年は總選舉執行せらるゝが故に本講習會も選舉對策に重點を置いて開催することにした。初回總選舉後四年の歳月を過ぎ選舉に經驗を有する職員は眞に寥寥たるものであり、又經驗者と雖も再教養の要を認め、各郡二日間宛地方職員の心得より選舉事務並に關係法令の講習を行つた。勿論短

期の講習ではあつたが選舉執行上に資する處が多かつたのである。

尙事務の統一に就ては市尹・郡守會議、或は市郡庶務課長及係主任の打合せ等を開催したが、更に州市街庄協會主催の下に州下選舉事務關係者の事務研究會、州下聯合模擬選舉會を開催し選舉對策の研究と事務訓練を圖つたのである。

又同協會に於ては選舉事務參考書を印刷し當務者に配付する等、大體職員の訓練と事務の統一は行はれたかに信ずる。

以上が今回の總選舉に於て行はれたる對策の概要であるが、此の總選舉を滞りなく終へ而かも前回以上の好成績を收めた所以のものは一つに督府當局の指導鞭撻並に關係市街庄職員努力の賜にして茲に深く感謝の意を表する次第である。

臺南州會臨時會に當りて

一四

臺南州臨時情報部

——第三回臺南州會臨時會に於ける川村州知事の挨拶——

今次事變勃發以來既に二年有半に垂んと致しますが、御稜威の下忠勇義烈なる皇軍の奮闘と、國際情勢の變動とに依つて最近抗日蔣政權の實力は頓に減退し、強力なる新中央政府が新支那更生に協力する同發具眼の士に依つて近く其の成立を見んとして居りますことは眞に御同慶に堪へざる次第であります。然し乍ら一面世界の情勢は刻々と變轉し前途全く豫斷を許さないものであります。既に歐洲に於ては一部戦端が開かれ勢の趨く所或は第二の世界大戦となるやも計り難い形勢であります。此の間に處して帝國は何處迄も東亞新秩序の建設、東洋永遠の平和確立と云ふ既定方針を堅持致して居るのであります。即ち政府に於きま

しては歐洲情勢の對策として「歐洲戦争勃發に際しては帝國は之に介入せず専ら支那事變の解決に邁進する」旨の毅然たる態度を明にせられたのであります。従つて帝國と致しましては歐洲情勢の展開如何に拘らず他く迄事變處理を第一義とし、總ゆる障礙を排して目的の貫徹に勇往邁進するのみであります。

此の秋に當り我臺灣と致しましては島民をして克く帝國不動の決意を理解せしめ、更に一段と人心の緊張を固り、堅き決意の下に小我を没却し、恣意を抑制し、克く萬難に耐へて長期に亘り時難克服するの氣魄を育成し、進んで國策に協力するの氣風を作興し、以て國民精神の昂揚を期するは勿論、更に人的並に物的

資源の愛護増強に努め、國家總動員態勢の完成に寄與せしむることが刻下最大の急務なりと存する次第であります。

時局下第二回地方議員總選舉は去る二十二日を期し全島市街庄一齊に執行せられた次第であります。本州に於ても市及街庄とも滞りなく二十二日中に全部完了し、殊に今回は市に於ては自發的に戸別訪問を廢し、又街庄に於ても代書投票は盲目者を除き之を廢止し専ら自書主義の勵行に努めました。選舉の結果に徴するに有権者八萬七千四百九十九人中、棄権者僅に二千四百三十九人、之が投票率九割七分二厘に達し前回の總選舉に比し六厘の向上を示し、全島第二位の好成績を挙げ得ましたことは一般民衆の政治的、公民的觀念の向上を物語るは勿論、有権者各位の此の重大時局に處する理解と關心の然らしめたことを思ひ欣快措く能はざる所であります。

申す迄もなく地方制度の眞意義を發揚するには寧ろ今後の運営に俟つべきもの頗る多く、殊に時局下聖戰

の目的に照し民意の暢達を期し、市街庄民の全分野に亘り一層總動員態勢の強化を圖るの要益々緊切なるものあるに鑑み、今回選出せられたる各位が其の使命の重大なることを自覺せられ、一意公共の福利を眼目とし公正なる輿論を市街庄の行政に反映せしめ、以て制度所期の美果を收められんことを切望して已まない次第であります。

永年の懸案であり且つ島民の要望でありました本島初等教育義務制度も愈々昭和十八年度より實施の運となり、本島施政上劃期的大事業が其の緒に着くこととなりましたことは寔に御同慶に堪へざる次第であります。申す迄もなく臺灣統治の根本方針は、聖旨を奉體し島民をして眞に皇國民たるの本質に徹せしめ、以て帝國運の進展に寄與し皇運を扶翼し奉るべき忠良なる臣民たらしむるに在るのであります。而して今次支那事變の勃發以來本島住民の皇國民たるの覺醒を新にし、其の子弟を忠良有爲なる國民に育成せんとする熾烈なる要望は一層本制度實施の機運を促進し、遂に之

が實施に關する方針の決定を見たものと存する次第であります。

本制度の實施期たる昭和十八年度には尙未だ三箇年の準備期間がありますが、就學歩合に於て全島的に最も低位に在る本州と致しましては義務教育實施年度初期の目標たる就學歩合八〇%に到達せしむるには今後格段の努力を要することと存じます。幸に躍進途上に在る本州としては財政的方面には相當餘力もありませんので、適切なる方途を講じ之が具現に邁進せんとする次第でありますので、各位の充分なる御協力を切望して已まぬ次第であります。

物價騰貴の抑制は時局下經濟政策の核心を爲すものでありますから、政府は事變の進展に伴ひ時局の推移に應じ各種の物價政策を強化遂行し來りたるに拘はらず、物價關係の複雑性と從來の統制範圍が貨物全般に及び得ざりし關係上、物價騰貴の趨勢は依然止る所なく殊に今次歐洲動亂の勃發するや我國物價は先高思惑、海外物資輸入價格の騰貴等に依り一層奔騰せんと

する氣配を示し、之が我國の財政、經濟、産業及國民生活に及ぼす影響憂慮すべきものがあるに至りましたので強力なる價格政策實施の必要より致しまして國家總動員法の關係條項を發動し、過般價格統制令其他勅令の公布實施に依り内外諸情勢に適應したる我國物價の安定を期せんとするに至つたのであります。斯くの如き緊急措置に伴ひ一時物價の不均衡狀態、物資の偏在退蔵、配給不圓滑、生産の萎縮減退等の諸現象を呈する等國民の各階層、各部門間に亘り頗る重大なる關係あるを以て國民全般の強き理解協力が要請せらるゝのであります。州に於きましても近く法令の整備を依つて地方物價委員會を設置し協定價格の指導、公定物價の制定等に力を效すべく着々準備中でありますので各位の全面的御協力を切望する次第であります。

米穀移出管理事業は本年二期作米より實施せられ十一月一日より既に其の開始を見ましたる所、内外地を通ずる異常なる米穀事情は米價の安定を缺き出荷出廻

り不圓滑を來したる等の原因よりして内地に於きましては公定價格の大幅引上げを行ふに至りましたので、本島に於きましても島内諸般の實情に即しまして穀に米穀移出管理に依る買入價格の再修正を行ひ、農家經濟の安定と買入米納入の圓滑を期し、更に現下の米穀事情に鑑み島内取引米穀の適正なる價格の構成を圖り、之が取引の圓滑を期しまする爲に去る二十三日米穀配給統制規則第二條の規定に依り、島内取引の玄米及白米に付て賣渡價格の指定を見るに至りました。斯くして島内に於ける一切の米穀取引は本價格を基準として行はるべきであります。今尙生産者仲買人等は先高を豫想して賣借み又は買占めの行爲を敢て爲し配給の不圓滑を來さしめ、本島重要産業の調和發達を目的とする米穀移出管理事業の使命達成を阻止せんとするものあるは甚だ遺憾と存する次第であります。

以上の如き現狀に鑑み州に於きましては之等統制價格の徹底並に配給の圓滑を圖るべく生産者、米穀商同業組合及米穀關係産業組合を充分指導し相協力して極

力米穀の圓滑なる配給を促進するに必要な措置を講ぜんとするものであります。之等措置の達成に付きましても各位の御協力を期待して止まざる次第であります。

次に製糖業及甘蔗農業の健全なる發達、砂糖の供給の圓滑並に産業の調和的發達を圖ることを目的とする臺灣糖業令は去る十月三日律令第六號を以て公布せられ即日より施行せられた次第であります。申す迄もなく臺灣は我國唯一の熱帶的領土であり、且つ日滿支を通ずる經濟ブロックに於て臺灣に期待する處は常に米糖二大産業のみに止まらず各種熱帶的特殊産業の發達に在り、従つて之等各種産業を調和的に發達せしめ各々其の所を得しむることは臺灣産業の指導精神たるべき處でありまして、米穀移出管理制度を創設せられました所以も亦此處に在るのであります。糖業の大部分を抱擁する當州としては其の隆替が農村經濟に多大の關係を有するは勿論、關係工業の勃興如何が將來の州勢振興に影響を及ぼすべきものなるを思ひ、之が實

施運営に當り萬全を期するやう大に官民協力の必要なることを痛感するものであります。

扱て今回附議致します昭和十四年度歳入歳出追加豫算案は主として本年六七月の豪雨出水に依り被害を受けました營繕及土木に關する災害復舊費並に適用河川工事費負擔金等で眞に緊急不得止もののみであります。

て、追加合計額三十四萬七千七百八十七圓となつて居ります。而して之が財源と致しましては國庫補助金五萬三千百圓、寄附金三萬三千九百五十八圓、前年度繰越金二十六萬七百二十九圓を以て充當せんとする次第であります。

地方情報

臺中州社會教化委員大會

〔臺中州臨時情報部〕 本州社會教化委員制の設定せられて既に八年、概ね社會教育機構整備し其の實績も相當見るべきものあり、洵に同慶に堪えざる所なり、然りと雖も部落振興會、青年團を始めとして各種修養教化團體の充實強化も、國語講習所、部落道場其他社會教化の施設活動も一つに今後の努力に俟たざるべからざるものあり、殊に我が帝國は今や新東亞秩序建設に展開し、世界的重大性の時局に直面す、我帝國南門の鎖鑰として、將又南方開發の據

點として國防上にも産業資源の上にも最も重大性を有つ本島に在りては、舉島一致敢然としてこの皇國の重責を負遂せざるべからず。須らく州下各般の社會教育を検討し其の教化の大本に培養して物心一如、報國總動員の實を擧ぐることに洵に切實なるものあるに鑑み、茲に社會教化の陣頭に立つ社會教化委員の參集を求めて諮問、指示、協議其の他の審議研究、體驗事項の發表等に依り相互の修養研議に資すると共に畫期的州下社會教化の根基たらしめ以て宏大無邊なる 皇恩の萬一に應へ奉らむことを期する趣旨のもとに臺中州社會教化委員大會が十二月七日員林公學校にて開催された。

家庭防空講習會

〔同部〕 國民防空の人的手段として家庭防空の普及活用は特殊事情下の本島に於て近時最も其の重要性を強調せられ來りたる現況に鑑み、臺中州に於ては差し當り民衆指導の任に衝る州下第一線關係者をして家庭防空に關する概念を會得し、認識理解を深めしむるため斯道の權威者小倉少將を招聘し十二月十四、五の兩日に互り、實演講習並に講演會を開催して一般民衆の家庭防空に關する指導奨励をなした。

全島學徒聯合演習打合せ

〔同部〕 青少年學徒に賜りたる勅語の御趣旨を奉體し、學生生徒の心身を鍛錬し學校教練の成果を發揮

する目的の下に、来る二十日から三日間臺中平野に於て實施される全島學生生徒聯合演習は、参加人員七千餘名に達する大規模な演習なので、地元たる臺中州では諸種の準備を進めてゐるが、去る八日午後一時から州會議室に於て各關係者集合の上演習事務打合せ會を開催した。

馬事競技會

〔同部〕 臺中市及大屯郡共同主催の下に馬耕技能を向上し役馬に關する認識を深め之が普及増殖を促進し農事の改良發達を圖る目的を以て左記の要項に依り来る十二月十六日臺中市下橋子頭に於て馬事競技會を開催した。

○参加者 臺中市大屯郡下に居住

する農民

○役員 會長安詮院臺中市尹、副會長山分大屯郡守、審査長古賀臺中州畜産係長、審査員若干名
○褒賞 特等一點三十圓 一等二點二十圓宛 二等三點十五圓宛 三等五點十圓宛 四等十點五圓宛

○審査要項

- 一、深耕狀況四〇點
- 二、土塊の反轉狀況五點
- 三、時間二〇點
- 四、馱法二〇點
- 五、器具の裝置五點
- 六、疲勞狀態五點 計百點

○褒賞授與式

競技終了後直ちに現場に於て

愛國婦人會の獻納綱帶作製

〔花蓮港廳臨時情報部〕 花蓮郡研海分區愛國婦人會に於ては此の程新城舊演武場に於て花蓮郡愛國婦人會吉田分會長、荒尾副分會長、矢野幹事其他列席の下に役員會を開催し、各種附議事項中就中皇軍慰問に關しては最も真剣に討議せられ、早速綱帶作製に着手、忽ちにして七〇卷を作製直に其筋へ献納し銃後の赤誠を披瀝するところあつた、因に本催は極めて僻村に在る同地一般住民に銃後國民として向ふべき至大なる關心を唆れり。

壽保甲民の美譽

〔同部〕 花蓮郡壽保庄壽一六番戸李奎某六一歳は竹細工を業とし眞面目に働いて居たが、本年三月頃から

中風症に罹り業務に専念すること不可能となり、加之八十二歳の盲目の老母と八歳の女兒を抱へて漸次生計に窮するに至つたが之を見た保正廳繼嗣は同情の念禁する能はず、今日迄數回に互り人知れず衣食を給してゐた、何時か之を聞き傳へた甲長達は保正の隱徳に感激し、保内の事は我々保甲民全體にて負擔救助すべきが當然なりとて保甲會議にて救助方協議の結果、萬場一致毎月一戸當り十錢内外を醸出し差し追つた年末に越年の出来なない此の種困窮者を救助することに決定、實行することゝなつたが部落民の一致協力の隣人愛は實に他保甲の模範と言はれてゐる。

東部漁業移民先發隊の到着

〔同部〕 時局下東部臺灣漁業開發の先驅者として一大決心と抱負を胸に畫き勇躍遠く郷土を離れ出發したとの通信があつた花蓮港廳第一回漁業移民先發隊大分縣人野口敏夫以下八家族四十人は基隆にて富士丸より武昌丸に乘換へ、十二月七日早朝花蓮港々に一同無事到着した、同海岸に軒を並べて新裝成れる漁村に長途の旅行勞苦の色も見せず至極元氣にて旅装を解き、豫想以外に立派な住宅や風光明媚な米畝一帶の眺望に吃驚しつゝ、本島移民の大先輩吉野村農業移民西村組合書記外女子青年團員の手厚い世話、温い慰撫や激勵に一同感激し、銃後農村漁村の使命達成を誓ひ合つてゐるのも麗しい情景であつた、九日午前十一時には新來の

此の漁民一同は打ち連れて廳に至り高原廳長を初め釜田警務、石渡勸業兩課長其他に挨拶を爲し、引續き廳會議室に於ける入所式に臨み廳長より左記の如き激勵的訓示を受け移民一同漁業開發者として恥しからぬ働をなすべく其の誓ひを爲し、愈々十、四噸四十馬力の發動機船の爆音も勇しく海の幸を一手に開發すべく乗り出すことゝなつた。

記

諸君は本土を離れ一種侮辱的に送られ来たことを聞いてゐる、であるから是非成功して貰はねばならぬし、廳長としても成功させねば置かない、それ見よといふ成功を得るまでには並ならぬ努力が必要で、充分なる覚悟の下に粉骨碎身大和民族の名譽のために東部漁場を開發して貰ひたい。

時局南支展覧會を觀て

廣東政略一周年を記念する時局南支展覧會は去る十月二十一日より十一月九日まで二十日間臺北市公會堂で臺灣日日新報社主催、臺灣總督府、臺灣軍司令部、馬公要港部の後援によつて盛大に催された小公學校生徒の童心に如何に映つたか、その鉛筆の蕊に時局認識を集中し、幼き芽達はこの展覧會の意義をはつきりと掘んだのである。

海南島の夕日

臺北市旭尋常
小學校第四學年
宮島潤子

今度の展覧會はどんなだらうと思ひながら胸をわく／＼させて第一部に入りました。
かいさつ口は、大人や子供でいっぱい、ようやく中にはいつたと思ふと同時に、

目をさすやうな光が、大人の人の帽子と肩の間から見えて來ました。飛上つて見やうとしたけれどぎゆう／＼つめでどこを見ても見る所がありません。困つてあつちをむいたりこつちをむいたりしてゐました。其のうちしばらくすると、男の人が三人のいていつたので、これ幸ひこのすきだと、たかさんの人をおし分けて首だけ出して見ると、天の岩戸でした。天のうすめのみことが、たるをさかさにして櫛の枝を手につけて、身ぶり手ぶりおもしろくおどつていらつしやるお

二二

姿でした。何だか、神様方が手をたゝいてお笑ひになつてゐるお聲が、かすかに聞える様に思はれました。
次にずん／＼進んで行くと、天孫降臨でにぎのみことが高千穂の峯にたかさんの神々様をお供として、お下りなされる所でした。私は神々しさにしせんと頭が下りました。
次はあの廣瀬中佐です。杉野、杉野はゐないか。と大聲にさげんでゐます。部下思ひのやさしいお心には涙が出ます。私はとびくるつ／＼おとの歌を思ひ出しながらそこを通りました。外に出ると、高射砲、機銃、探照燈、戦車などがありました。これらは私が實さに見たことのない物ばかりなので、忘れないやうによく見ておきました。
二階へ上ると、廣東政略戦がありました。電氣がばつ／＼ついたと思ふとすぐまた消えて、木のしげつたかげに日本の兵隊さんが銃をもつて敵に見つからぬ様進んで行きます。機關銃をうつ兵隊さんが、一發だつ／＼とつと、山のかけの敵の

陣地にはつと火が立ちます。タンクは逃廻る支那兵を追つかけてはし、その後からは大勢の兵隊さんが、部隊長を先頭に突けしして行きます。頭の上には日の丸のマークをつけた飛行機が勇しくとんでゐます。ほんたうの戦争を見てゐる様です。次はバイヤス灣敵前上陸で、軍艦から今たかさんの兵隊さんが小さい船にのつて、敵前上陸して行きます。私はこれを見て「兵隊さんありがたり、兵隊さんしつかり」と心の中でさげびました。

海南島の原野で、支那人がくわを持つて、きれいな夕日に照らされながらお仕事をしておりました。私は海南島はひろ／＼としてゐて、良い所だと思ひました。日語學校といつて、支那人の子供達が日本語を習つてゐるのがありました。教室の黒板には「オハヤウゴザイマス。コンバンハ」と書いてあります。

三階へ行くと、空爆の實相があつて、防空の用意が大事であることがわかりました。防空がうを出てから、えいせいポスターを見てから外に出ました。氣がせい／＼しました。

今日日本の國は非常時だとよばれてゐますが、私はあの展覧會を見て、なほさら非常時だといふことがわかりました。

思はずこぶしを

臺北市樺山
小學校第六學年
藤弘昭三

お祭のはやし太鼓の音を耳にしながらし時局南支展覧會を見るべく、公會堂へと急いだ。今日は恵まれたお祭日和に、空はコバルト色に晴れ渡つてゐた。各地から押寄せた観衆で、こゝもお祭さわきで押す／＼の大混雑の中から、やつと切符を手に入れた。お祭のとき、

「持つて下さい。」
の聲をびしやりと閉めた。入口には高射砲が泰然として大きな口を空に向けてありし日の戦を物語るかの様である。その廻りは幾重にも観衆で取り囲みまるで人垣を結つたやうである。中は人の波人

の海でわきかへつてゐる。外に居る者も此の好機を逸してはならんと、我先にと争ふ客で大混雑してゐる。

「すつ。」とドラが早く早いかなだれを打つて押し込まれて行つた。「あゝ。」と思つて、第一會場へは入つた。
おゝ、は、正行が父正成の後をしたつて切腹する所をその母が止めてゐられる所である。

「押すな／＼危いぞ。」
と言ふ聲が彼處でも此處でもする、人と人との間に小さくなつて進んで行く。僕は首だけ長く出して見入つた。なか／＼ゆつくりは出来ない。天照大神が天の岩屋からお出ましなされる所、それから神武天皇の御即位の禮をおあげなされる所等次々に見て行つた。多くの本島人が國語まじりで見やべりながら熱心に見てゐるのは金を賣つて、お國の爲に御奉仕するといふところであつた。一人でもこの長期戦の眞意義を知つて、お國の爲に盡くす様にと祈つた。貯蓄報國の所を見て、僕も無駄使ひを止めて貯金して、少しでもお役に立つやうにと思つた。興國

二三

の興廢は實にこの一戦からである。押され、防空ごうに吸ひ込まれて行つた。いざと言ふ時の設備がちゃんとしてあつた。こうして置けば何時でも大丈夫と思つた。

それから白人のアジヤ侵略を見た。獨逸な白人の仕業を思ふと思はずこぶしをにぎつた。尙始めて見たソ聯水陸兩用戦車、對戦車砲、照明機等すえ附けてあり、一々説明してもらつた。この世界に誇る、水陸兩用戦車も、支那の各戦野を北に南に大活躍をしたものであらうが、我が思勇なる皇軍の精銳部隊の攻撃に奮戦によつて、敵もこの戦車を遺棄し去つた。これを我が軍が手にしたものである。これを見ても、彼の支那兵の憤病さがわかる。勇ましい市街戦、爆弾投下それから各國の精銳なる飛行機、如何に世の中が進歩しつゝあるか、これからの戦は空中戦だと思つた。

心の底から熱いものが

臺北市蓬萊 公學校第六學年 周氏 笑

十一月一日私達蓬萊公學校の生徒千五百名は、先生に連れられて公會堂へ南支展覽會を見學に行つた。會場にはよくもこんなに澤山集める事が出来たものだと思ふ位、色々な品物が陳列してあつた。會場に入つた時、私は何だか心の底から熱いものが出て来るやうな氣がした。天

の岩屋の神々しいジオラマがあるのだ。神様方の神々しいお姿。天照大神の御光何ともいへない神々しさに打たれた。それから天孫降臨、神武天皇の御即位式、日本武尊、神風、廣瀬中佐等、日本の國體の立派である事をしみん、有難く思ひ、こんなよい國に生れた私達は、本當に幸福であると嬉しく思つた。それから澤山並べられた兵器。高射砲、野砲、探照燈、機關銃、水陸兩用戦車、水雷、手榴彈など目頃よく聞く言葉であるが、まだ一度も實物を見た事のない私にとつてはとても大きく巨人の武器であるやうな感じがした。赤・黄・青・茶などさまざまの色でぬられ、がっちり大地をふみしめてゐる高射砲。日本にはこんなに大きく巧みに出来てゐる高射砲や野砲などの備が充分であるからどんな國難に會つても恐れる事はない。それなのにこんな立派な兵器を持つてゐる支那兵はどんなに負けて行く。やはり戦争にはいくらよい兵器を持つても、それを使ふ人の心が日本兵のやうにしっかりとつてゐなければ猫に小判だ。直徑一米半もあるやうな圓形

のガラス面を持つた探照燈。今さら大きいには舌をまくのみである。重さうな機關銃。この機關銃を持つて突進される兵隊さんの苦しさはどんなであらう。手榴彈。支那兵がよく使用する手榴彈。龜の子位の大きさだ。茶色が、つた。こんなものを支那ではよく使ふのかと思ふと支那兵がにくらしくなつて来る。私の知つてゐる兵隊さんもこの爲に負傷をなされたのだ。

支那の人達の手藝品なども並べあつたが仲々上手であつた。これから我が國の人が行つて教へてやれば益々支那の産業は發達して行くだらうと思つた。やはり早く蒋介石を倒して支那の良民と仲よくし本當に支那を發展させて東洋が平和になるやうにするのは日本の務めであると思つた。その他蒙古についての品物も澤山並べあつたので、今、支那地方の地理を知つてゐる私達には大へん爲になつた。

世の中が進むに従つて戦術も武器も變つてしまふ。我が大日本帝國は幸ひに國防の準備がとつてゐるので何も心配

はない。しかし心をゆるめてはいけな。あの威風堂々とした高射砲を見た時は何とも言へぬ心強さと、日本に生れて来た幸福をしみん、感ずると同時に、一層私達は銃後を守らねばならぬと思つた。我が正義王師の進む處常に敵なく、東洋の平和の基礎が着々と建設されて行く。私はこの南支展覽會を見、日本の國體の立派である事と、兵隊さんの御苦勞を思ひ、又日本は早く蒋介石を倒して、支那の良民を助けて、東洋平和の日が早く来るやうに努力するのが私達の務であると思つた。

防空かんしの様子

臺北市旭尋常 小學校第四學年 石原榮三

臺灣神社祭の日に、時局南支展を見に

行きました。諸岡さんと見に行きました。公會堂の入口に、大きな高射砲がありました。第一會場といふ札の立つた所にはいると、天の岩戸がありました。正面にはたちからをのみことが岩戸をお開きにならうとしていらつしやつて、そのうしろに、あめのうづめのみことが、桶の上にお乗りになつて舞ひを舞つていらつしやいます。此のパノラマを見ると、三年生でなつた天の岩屋のことが思ひ出されて来ました。どこかで、ブー・ブー・とサイレンの音がしました。今日はお祭で人が満員です。

天孫降臨、神武天皇御即位、國威宣揚など色々なジオラマも過ぎて、南郷少佐のジオラマにきました。少佐の飛行機が敵の飛行機としようとして落ちる畫が、動いてゐるやうで、又しようとする音が聞えるやうです。僕の級の新山君は、南郷少佐のやうな航空兵になるさうです。次は西住大尉です。僕は大きくなつたら戦車隊にはいらうと前から決心してゐましたが、このジオラマを見て、戦

臺北市旭尋常

小學校第六學年

上田澄子

今日は朝からめづらしい秋晴のよい天気です。しきりに飛行機の爆音が聞えます。お庭に出て空を仰いで見ると、兩翼に真紅の日の丸を帯がいた陸の蒼鷺である事がわかりました。時局南支展覽會を意義深くし、又一層気分をそへる爲なのでせう。又遠くからはタンクが市内行進をして居る音が聞えて来ます。

私は急に南支展覽會に行つて見たくなりました。日曜日でしたので、お父様をおさそひして、晝から出かける事になりました。

天氣がよいので街頭は人で満を巻いてゐるやうです。やがて會場に入りました。公會堂は赤い屋根、青い煉瓦、飾りたてた旗、それにおひるの太陽が照りつけて、秋の空に一層美しさをそへて居ます。會場の入口はずんずん澤山人を吸ひ込んで行きます。

連山は薄紫に

らうと思ひました。又、双葉山がいくら力持ちでも、この爆弾は持てないだらうと思ひました。右側には、爆弾を投下された都市をかけたつがりました。それからかかん防空がうにはいると、ほんとに地面の中にはいつたやうです。各國の飛行機の模型のある所に、ニッポン號もありました。もつと行くと燈火管制についての注意がありました。この注意を見ると僕の家などまだくたくさんのけつてんがあることに気がつきました。次に防空かんしの様子がいめされてきました。雨の日もどんなあつた日、小さな小屋で望遠鏡をもつて、遠い空を眺めてゐます。僕たちが毎日何の心配もなく學校へ行けるのも、この人たちのためだと思ひました。たいへんためになる展覽會です。ずつと一通り見てから歸りました。

今日はこんなに色々見せていたといふ、急に物知りになつた様な気がして嬉しくなりました。いそぐと家に歸つて行きました。

有りがたい

神の國

臺北市旭尋常

小學校第五學年

藤澤美代子

連日新聞をにぎはしてゐた南支展覽會を父と共に見に行つたのは、からりと晴れた秋日和の十月二十九日の午後でした。

會場には入ると先づ目についたのは脱帽の二字、私は心靜かに進みました。最初は天岩屋です。續いて天孫降臨、神武天皇御即位、日本武尊等、此の四月にお習ひした建國當時の有様が次々と私の心に新しくよみがへつて来ました。

軍隊にはいらうといふ決心をもつてくかためました。外へ出て兵器の所へ行きました。大砲、ちやう音機、戦車等色々ありました。一番僕にできてゐると思つたのは戦車でした。あんまりむづいになりすぎて、戦車ばかり二十分も三十分も見てゐたので、諸岡さんとほぐれてしまひました。

二階へ行きました。どこかで戦ひの音がします。廣東攻略戦です。爆弾の破れつする所など、夜になると一そうきれいです。それからずうつと見ていつて、ろくわく兵器の所に來ました。銃や剣やピストルなど色々あります。支那の國旗もあります。支那の鐵かぶとは、將校のは立つだけ、兵隊のはうすくて、ぶりき張りみたいです。それから支那のざつしがありました。ざつしは、支那軍大勝日本軍大負、など、色々のデマが書いてあります。

三階へ行きました。左側に大きな百五十斤爆弾がありました。こんな爆弾五十も落されたら、臺北は目茶々々になるだらうと思ひました。又、双葉山がいくら力持ちでも、この爆弾は持てないだらうと思ひました。右側には、爆弾を投下された都市をかけたつがりました。それからかかん防空がうにはいると、ほんとに地面の中にはいつたやうです。各國の飛行機の模型のある所に、ニッポン號もありました。もつと行くと燈火管制についての注意がありました。この注意を見ると僕の家などまだくたくさんのけつてんがあることに気がつきました。次に防空かんしの様子がいめされてきました。雨の日もどんなあつた日、小さな小屋で望遠鏡をもつて、遠い空を眺めてゐます。僕たちが毎日何の心配もなく學校へ行けるのも、この人たちのためだと思ひました。たいへんためになる展覽會です。ずつと一通り見てから歸りました。

はいるとすぐ脱帽の立札が目につきました。帽子を取るとすぐ頭が下りました。何と神々しい天の岩戸のパノラマではありませんか。それに續いて國史の上に、又今度の事變に現はれた数々の美談のジオラマです。見て行く中に段々引きしまつた氣持になりました。資源と廢品に關係のある所では、日本が今だけ多くの物が必要であるかわかります。お母様が、時々竹籠を持つて、國防婦人會の方々と、古織や紙府など集めて歩かれるのも、此の爲だとわかりました。

色々な分どり品がありました。南支派けん軍の賜です。高射砲があります。水陸兩用のタンクがあります。何れも外國の製品ですがこれが我が日本軍をなやまし、尊い犠牲者を出したのかと思ふと、珍しいよりもにくらしくてたまりません。

二階へ上ると、對岸の状況や海南島の事情が一目でわかるやうな、パノラマやジオラマがありました。對岸の都會も思つたより立派で、高層建築物があり、大

新春の書齋に

著者名	書籍名	定價	發行所
長谷川宇一	軍旗の下に	1.00	アルス
森 於菟	解剖臺に倚りて	1.30	丸井書店
小穴 毅	戦争經濟と商工會 議所	1.60	商工行政社
平野婦美子	綴る生活の指導法	1.00	厚生閣
加田 哲二	人種民族戦争	1.80	慶應書院
永井 潜	結婚讀本	1.80	春秋社
ウイツキ・ パウム	上海ホテル	1.70	改造社
古屋 芳雄	日本民族は何處へ 行く	0.80	日新書房
西谷彌兵衛	日本戦争貨幣論	0.40	世創社
粟屋 義純	戦争と宣傳	1.30	時代社
田中惣五郎	大陸の先驅者	1.50	興亞文化教會
麻生 義輝	人生のための美學	1.50	教材社
波多 尚	日本戦争經濟試論	0.40	日本問題研究所
高橋 龜吉	戦時計畫經濟の 展開と物價統制	3.00	千倉書店

(送 料 別)

販賣取扱所

内閣印刷局

臺灣官報販賣所

臺北市樺山町一八番地

電話 六、二二六番
接警電話 五七五八番

父にさそはれて次の室には入りまし
た。其所には日露の役に旅順港口で御國
の華と散つた廣瀬中佐や、最後に「軍刀
はあるか」の一言を残して壯烈な戦死を
遂げた橋中佐や、今度の支那事變に江南
の華と散つた南郷少佐や、上海戦や徐州
戦に大功のあつた西住戦車長等、皆御國
のために立派な働きをして護國の英靈と
なられた方々がかざられてあります。こ
れ等の方々のお話を聞く度に、私は何時
も心の底に、若し男だつたらといふ氣持
が起つて來ましたが、今日は「女でもよ
い。早く大きくなつて御國のために役に
立つ人にならう。」と胸がどりました。
會場はどこを見ても人ばかりで何だか
息がつまりさうでした。一階の終りの場
所に、高射砲、野砲、機銃、探照燈、戦
車等文明の兵器が我こそ戦争の王者であ
るぞと競つてゐるやうに陳列されてあり
ました。高射砲や野砲の筒の中にぐる
／＼まはつた溝のあることを始めて知り
ました。探照燈の前では、もしこれが目
の前で照らしたら、目がくらんで倒れて

しまふだらうと思ひました。
二階には第一に廣東攻略戦が實戦のや
うに作られてありました。敵の城では時
々ばつと火があがる。その敵弾雨飛の中
を日本兵がじりじりと進んで行く有様は
ほんたうに勇しく感じました。此所はさ
すがに見物人の心を引きつける實戦の模
型だけに、大へんな混雑で、うつかりす
るとお父さんにはぐれさうになるので、
はぐれまいとするだけでも大へんでし
た。自分で進むとなく後から押され
／＼して次の所に行く、敵の負傷兵や支
那人が我が日本兵の親切な手當を受けて
ゐる場面で、強くてやさしい日本兵が一
目で分ります。思へば一層蔭介石がにく
らしくなつて來ました。次には魚雷を見
ました。大きいものになると私が兩手を廣
げたよりも長いのがありました。大きな
軍艦でもこれが一發當れば沈んでしまふ
のだと思ふと、面白いやうな恐ろしいや
うな氣がしました。
三階はずつと防空のことでした。其の
中でも私は特に、燈火管制の説明をして

あるの目をとめました。空襲の中で一
番恐しいのは毒ガスです。兵隊さんかど
んなに強くても一度毒ガスに合つたら全
滅してしまふでせう。そんなことを考へ
ると、燈火管制のやうな時には一人でも
木心得者のないやうに、私達は常に防空
準備を怠つてはならないと思ひました。
私は此の展覽會に行つて新しい色々の事
を知つただけでなく、建國當時と今の日
本とをくらべて、やつぱり日本は有がた
い神の國だといふことをしみ／＼感しま
した。

二八

昭和十四年十二月九日印刷
昭和十四年十二月十二日發行 (月三回發行)
臺灣總督府臨時情報部
臺北市榮町三丁目十五番地
印刷人 加藤 豊吉
印刷所 小塚本店印刷工場
臺北市京町二丁目四十三番地



支那事変

貯蓄債券

賣出十二月十一日 〇三十一日

一枚 五十円

一券割増金

千五百円
七百五十円



大藏省
日本勧業銀行

— 本書の大きさは國定規格A5列 —

部報

昭和十四年九月二十日第三種郵便物認可
昭和十四年十月十日發行

（毎月一日、十一日、廿一日發行）第八十二號